



大子町 町長
高梨 哲彦

このたび、整備を進めておりました新庁舎が完成の運びとなりましたことは、大きな喜びであり、深い御理解と御協力を賜りました地域の皆様をはじめ、御支援賜りました国や県、関係された町内外の皆様に心から感謝申し上げます。

高台に移転して完成した新庁舎は、隣接の町営研修センター及び防災道の駅に選定された「道の駅奥久慈だいご」と連携し、今後は有事の際の防災拠点のひとつとしての機能を確保してまいります。

また、地域産業の振興と全国へ向けて木造をアピールすべく「純木造」を大きな特徴としております。さらに、大子町の特産品である「大子漆(うるし)」や、「大子那須(なす)楮(こうぞ)」を原料とする美濃和紙による装飾も施し、庁舎そのものが大子町の魅力を発信する造りとなりました。

約60年ぶりに建て替えられたこの新庁舎が、今後も末永く町民の皆様に親しまれるとともに、大子町の魅力発信地のひとつとして加わり、「日本一幸せな町づくり」の実現に大きく寄与することを心から願っております。



大子町議会 議長
金澤 真人

このたび、町民の皆様をはじめ、多くの関係者の御理解と御協力を得て新庁舎が完成いたしましたことを、町議会を代表し、心より感謝を申し上げます。

また、万が一の災害の時にも、災害対策本部として確実に機能を果たすため、当初の建設予定地と設計を変更して建設が進められたわけですが、関係された方々の御尽力と御協力を感謝を申し上げます。

建設に当たっては、当町が質の良い木材の生産地であることをアピールできるよう、建物の基本部分まで地元材や県産材を利用した斬新な純木造の建設となりました。

近年、地球温暖化を防止し、持続可能な発展、あるいは地域循環型社会の構築などと言われておりますが、まさに地域の資源を地域で利用する地産地消の見本となるような庁舎だと思います。

安全安心で木の香薫る新庁舎が、町民の皆様に親しまれ、地域に自信と誇りが持てるような施設となりますことを願いまして御挨拶いたします。

大子町新庁舎

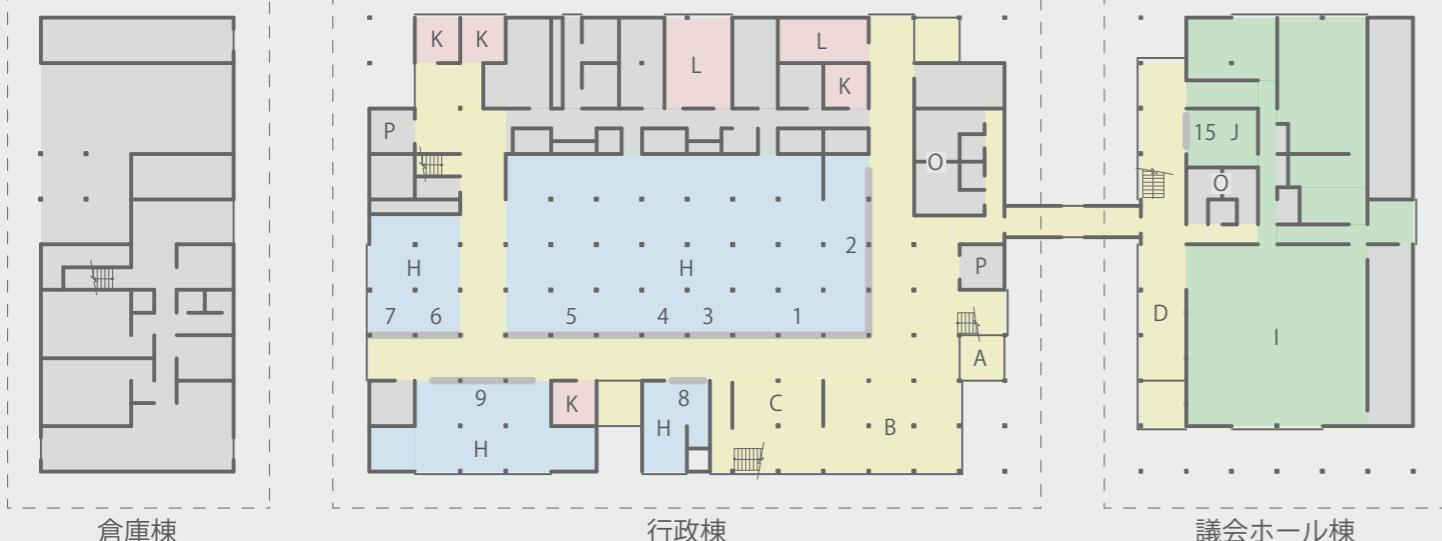
自然とつなぐ だいごまちコモンホール

基本理念

- 1 すべての人にやさしく利用しやすい庁舎
- 2 町民参画を促す拠点となる庁舎
- 3 組織改編に柔軟に対応できる庁舎
- 4 防災拠点としての災害に強い庁舎
- 5 環境に配慮した大きな屋根の下の庁舎
- 6 地域材活用の大子町の象徴となる純木造庁舎

フロア案内

【1階】



建物・敷地概要

所在地：茨城県久慈郡大子町大字北田気
構造：木造／準耐火建築物（一部2時間耐火）
階数：地上2階
敷地面積：25,888.70m²
建築面積：3,928.22m²
延床面積：5,074.95 m²（付帯建物除く）

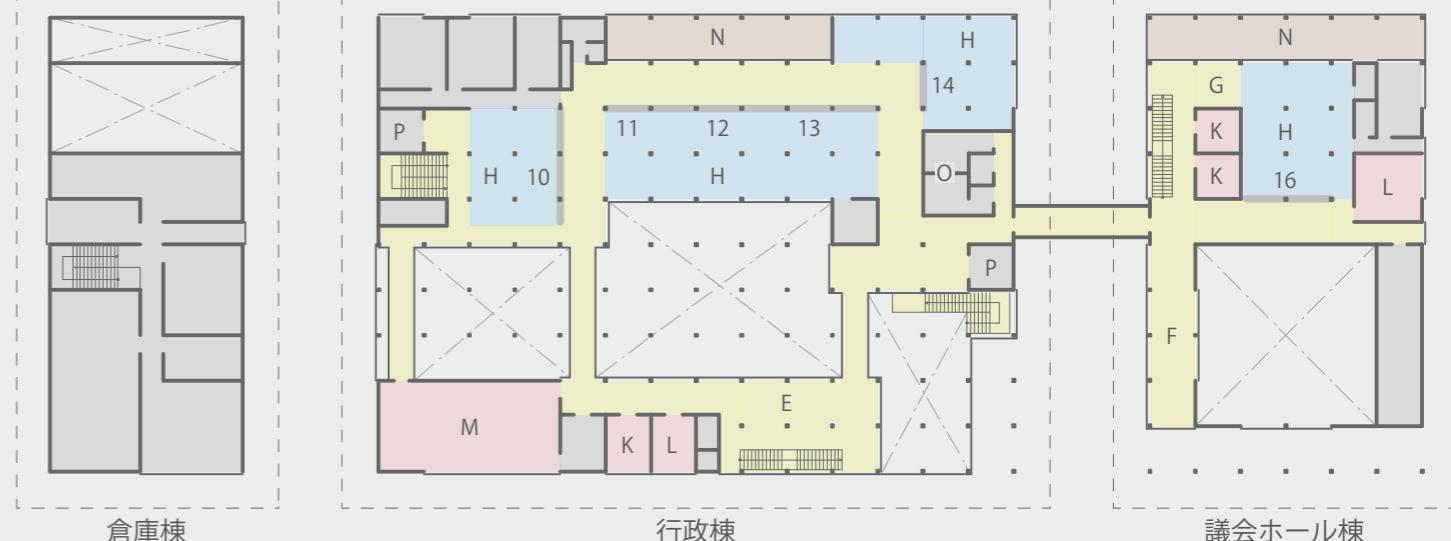
設計期間：2018年6月～2021年2月（旧敷地／鉄骨造含む）
施工期間：2021年3月～2022年7月
建設費：約20億7700万円（庁舎本体工事費）
設計・監理：株式会社 遠藤克彦建築研究所
施工：株木建設株式会社 茨城本店

経緯

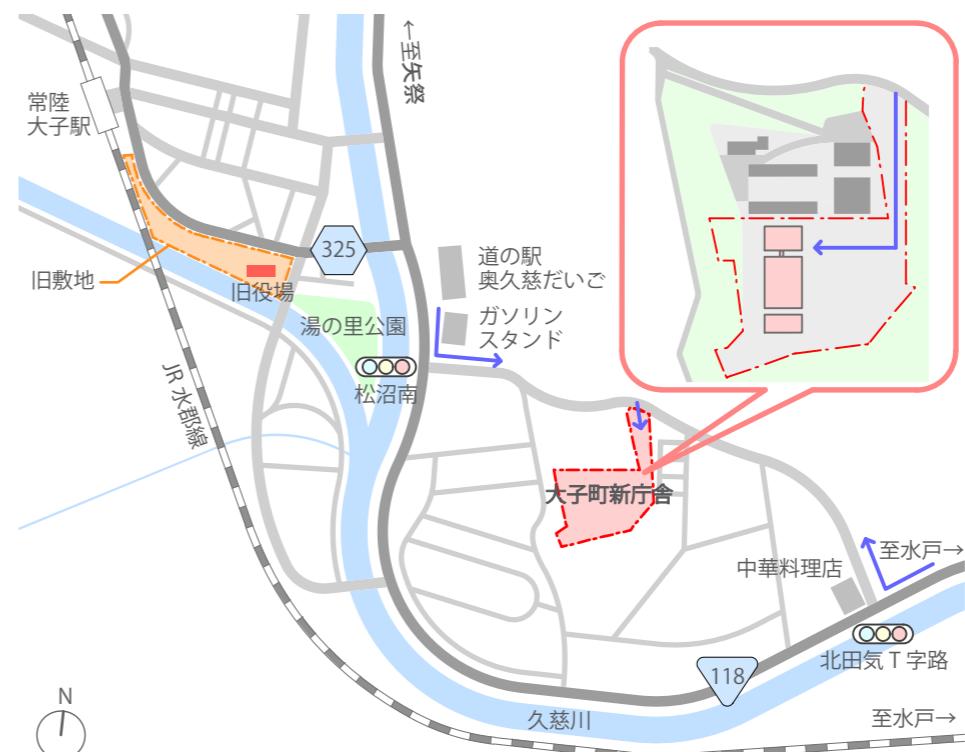
2015年04月 庁舎建設基金を設置
2018年01月 新庁舎基本構想・基本計画策定
2019年03月 基本設計（旧敷地）完了
2019年10月 令和元年東日本台風により旧敷地が被災
2020年01月 建設位置を変更
2020年05月 基本設計（新敷地）完了
2021年01月 実施設計 完了
2021年03月 新庁舎本体建設工事 着工
2022年07月 新庁舎本体建設工事 竣工
2022年09月 新庁舎開庁



【2階】



アクセス



【車（水戸駅／那須塩原駅から常陸大子駅まで）】
約1時間15分
【電車（水戸駅から常陸大子駅まで）】
約1時間20分
【常陸大子駅から大子町新庁舎まで】
徒歩 常陸大子駅より約20分
バス・タクシー 常陸大子駅より約5分

